

# 有珠山

## 1 概況（平成 14 年 7 月）

火山活動に特別な変化はなく、静穏に経過しました。

## 2 噴煙活動の状況

金比羅山火口群 K-B 火口の噴煙は昨年 12 月 23 日以降観測されていません。K-A 火口でも火口壁から立ち昇るわずかな噴気が時々認められる程度で、火口底からの噴煙は今年 6 月 6 日以降観測されていません。西山西麓火口群の N-B 火口の噴煙は概ね火口上 50～200m で推移しましたが、風が弱い時には一時的に 500m に達することもありました。山頂火口原、昭和新山では特別な変化はありません。

## 3 地震活動の状況

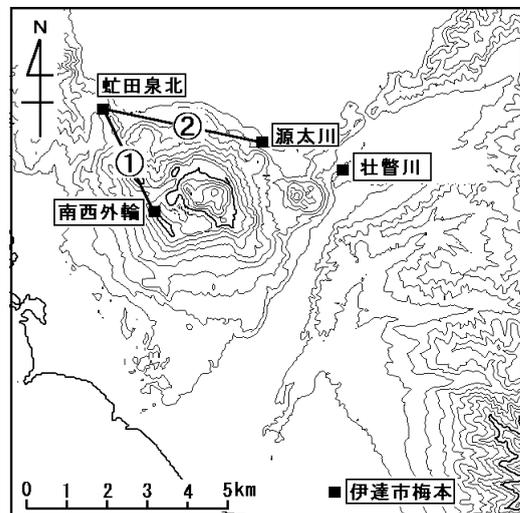
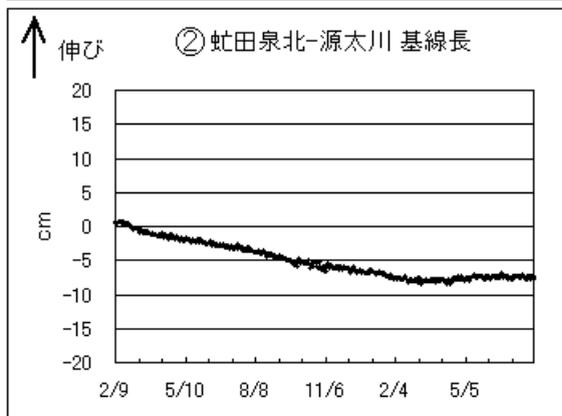
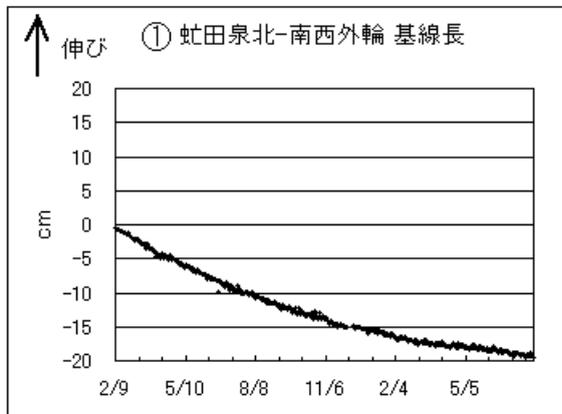
地震回数は 1 日あたり 0～3 回で推移しました。震源はほとんどが山頂火口原の浅い所と推定されます。火山性微動および空振は昨年 9 月以降観測されていません。

月別地震回数（A 点）

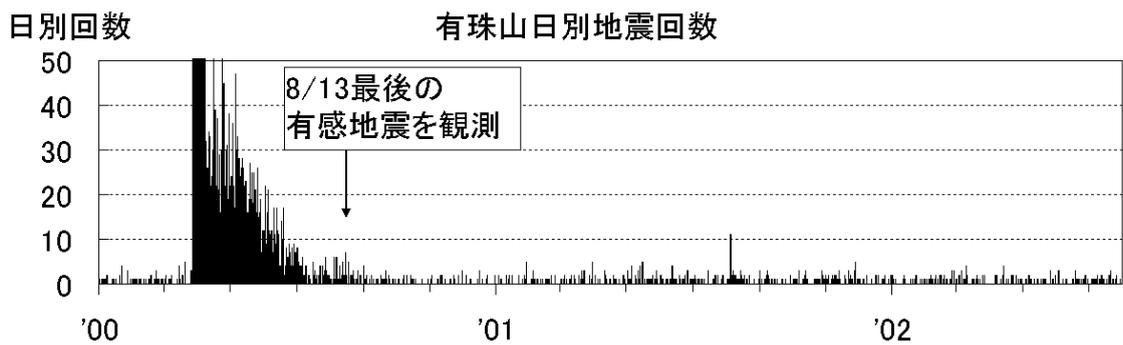
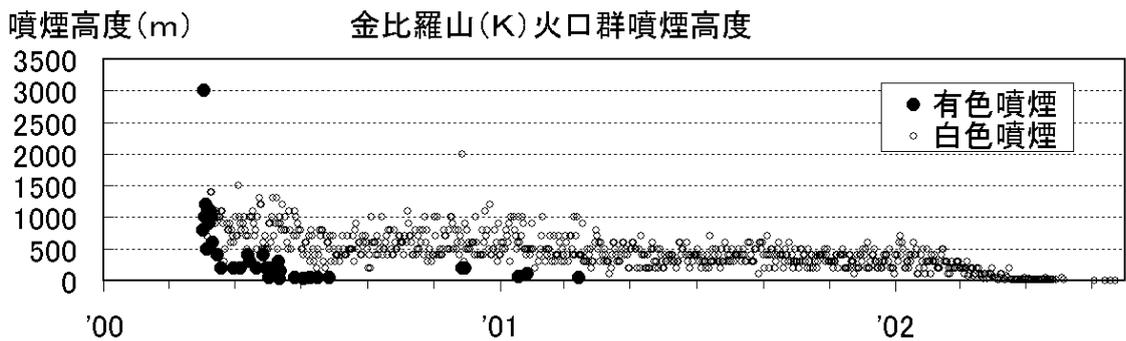
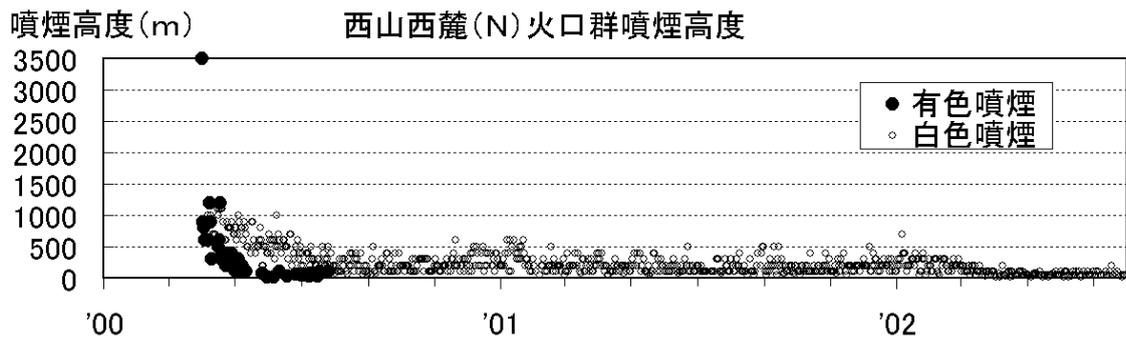
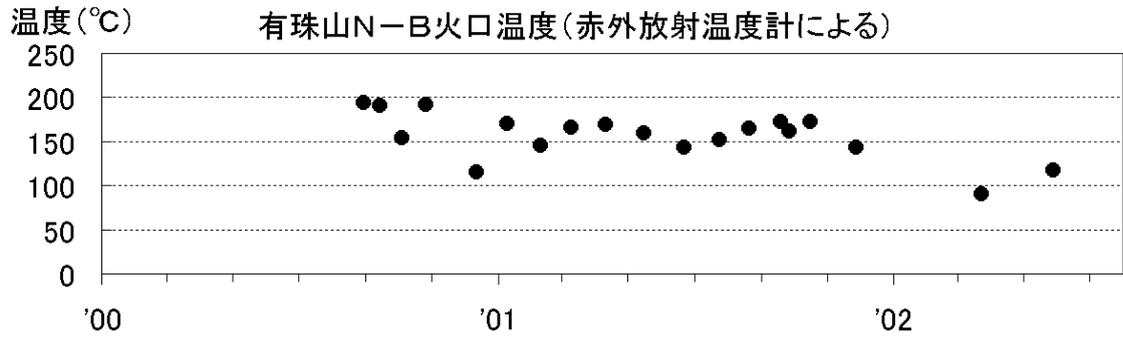
| 平成 13～14 年 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 |
|------------|-----|-----|------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 地震回数       | 42  | 24  | 29   | 38   | 18   | 16  | 27  | 26  | 23  | 18  | 23  | 26  |

## 4 地殻変動の状況

G P S 観測では、西山西麓を中心とするわずかな収縮が続いていますが、その傾向は更に鈍くなっています。



有珠山基線長グラフ（2001 年 2 月 9 日～2002 年 7 月 31 日）



有珠山の火山活動経過図（2000年1月1日～2002年7月31日）